

公明党 藤浪 清司 議員

福祉医療費助成について

(質問) 障がい者医療費助成については、県内他市と格差がある。格差是正のため、身体4級まで、精神2級まで対象を拡大してはどうか。福祉医療費受給者で、医療費の自己負担分の支払いが一時的に困難な方に対して無利子で貸し付けを行い、支給される福祉医療費と相殺して返済に充てる「福祉医療資金貸付制度」を導入してはどうか。

(答弁) 障がい者医療費助成の対象は、県内自治体の中でも、県の基準を超えて実施しているところもある。各市の状況などを調査、研究したい。医療費が高額なほど、払い戻しを受けるまでの間の生活が苦しくなる場合があり、医療費の自己負担相当分の資金を無利子で貸し付ける制度がある。県内でこの制度を設けている市町はないが、県外他市で導入している制度の内容を調査、研究していきたい。

その他の質問 ○学習指導要領の改訂について

自由民主党 鈴鹿市議団 森 雅之 議員

鈴鹿市の公共交通政策について

(質問) Cバスは、中心市街地から距離がある、高齢化率の高い交通不便地域の移動困難性を解消するための方策として運行している。

本市では高齢化が進む中、今後の市民ニーズとして、免許証を返納する高齢者や日常の通院、買物に使える福祉的な役割が、市内中(特に公共交通空白地帯)で期待されると思わ

れる。

今後の公共交通政策をどうするのかを考え、Cバスの見直しなども含めて、本市全域にいる本当に困っている方の交通手段の確保へ転換を図る時期と考えるのがいかがか。

(答弁) 今後、その地域での機運が高まれば、小規模需要に対応する新たな交通サービスを、地域の皆様と構築していくこととなる。本市のモデルとなるような新たな交通サービスを構築していきたいと考えている。

その他の質問 ○今後の鈴鹿市の教育について

鈴鹿の風 中村 浩 議員

Cバスについてパート23

(質問) Cバスの延伸と経路変更は何を根拠に決定したのか。

(答弁) 今回の路線の延伸・経路変更は、既存路線において、利用者減少の状況の改善、利用者の利便性向上を目的としている。

現行の運行体制などを精査し、椿・平田線では、8時7分に鈴鹿ハンターに到着する便

2台のうちの1台の回送車両を飯野高校に回ることが可能か、経費も大幅に増加することがないかなどを運行事業者に確認し、経路の延伸を行うこととなった。

庄内・神戸線では、現行の運行ダイヤなどを精査し、一部、経路変更として、村瀬病院や鈴鹿エースに近接する神戸三丁目にバス停を設けることが可能であるということを確認し、経路の変更を行うこととなった。

その他の質問 ○救急出動について

リベラル鈴鹿 森田 英治 議員

大規模地震等災害時の対応について

(質問) 昨年、視察した相馬市から震災時の状況や対応について説明を受け、具体的な防災計画の必要性を痛感した。本市の現状と具体的な計画を伺う。

(答弁) 災害時の対応は、地域防災計画、運営要領、業務継続計画において規定している。具体的な対策は、時系列に沿って業務の洗い出し

を行う必要があり、その結果から課題に対して対策を講じる必要がある。

本年度より、地震災害対応業務に係る対策部署ごとの時系列の行動計画表の作成に取り組んでいる。この行動計画表を基に、応急対策における具体的な業務内容の確認や課題を話し合い、活動内容を示す「行動マニュアル」を作成していく。

紹介いただいた相馬市の事例をはじめ、被災自治体の事例を研究し、生かしていく。

その他の質問 ○一般会計からの繰入金について